

# 北海道浮魚ニュース

平成 27(2015)年度 4 号

2015 年 6 月 16 日

道総研水産研究本部

釧路水産試験場

ホームページ :

<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

## ◎道東太平洋スルメイカ資源調査結果

- スルメイカの分布密度は前年より高い。
- 体サイズは前年より大きい。

調査期間 : 2015 年 6 月 4~12 日

調査海域 : 道東太平洋 (北緯 41 度ライン周辺の 7 調査点)

調査船 : 北辰丸(釧路水産試験場所属)、イカ釣機 5 台装備

### 1. 水温分布 (図 1)

調査点の表面水温は 9.4~15.7℃で、ほとんどの点で前年(7.5~13.2℃)を上回り、50m深水温も 3.6~13.0℃と前年(0.8~8.0℃)を上回りました。

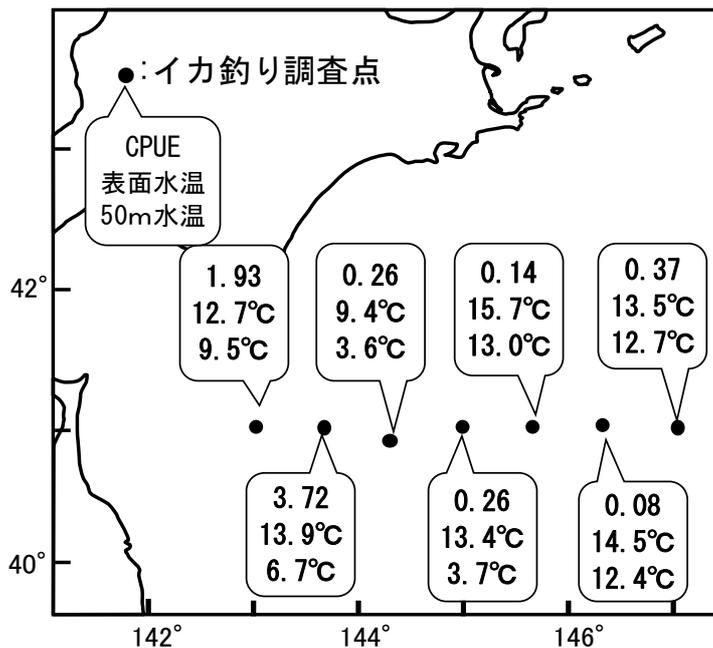


図 1 2015 年 6 月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度と表面水温  
※分布密度は CPUE(イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数)で示した。

### 2. 分布密度 (図 1、図 2)

7 調査点でスルメイカの分布密度を調べた結果、分布密度 (CPUE : イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は 0.08~3.72 でした (図 1)。スルメイカは全調査点で漁獲がされ、調査海域すべてで分布が確認されました。7 調査点の平均 CPUE は 0.97 と前年 (0.11) を上回りました (図 2)。

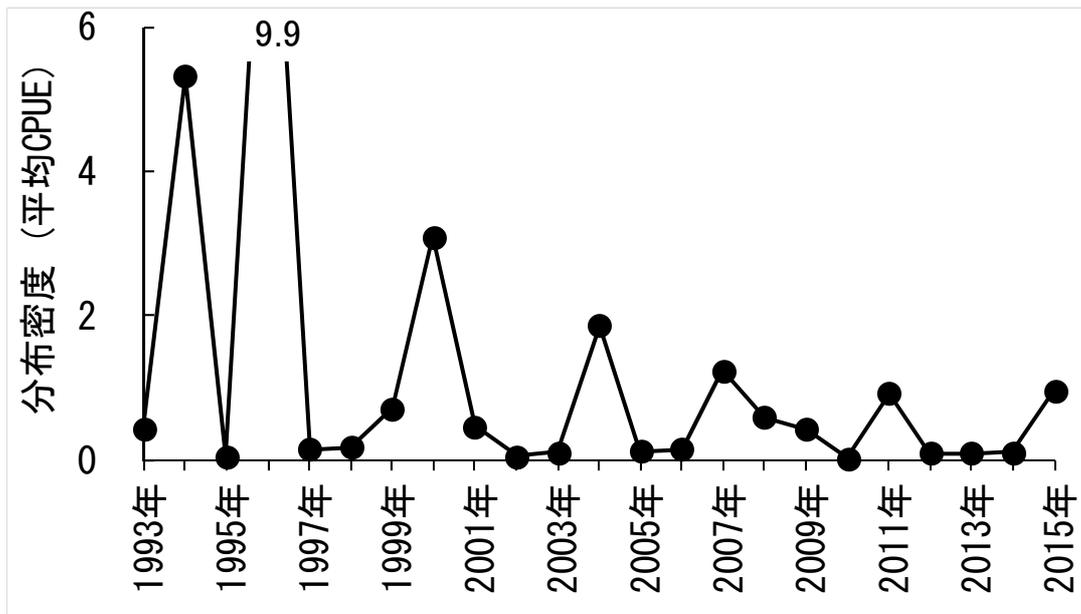


図2 スルメイカの分布密度の経年変化  
 ※各年の分布密度は全調査点の CPUE の平均で示した。

### 3. スルメイカの大きさ (図3、表1)

スルメイカの外套長 (胴長) の範囲は 13~20cm (前年: 13~18cm) にありました。モード (最も多く漁獲されたイカの大きさ) は 16 cm で、前年 (15 cm) より大きくなっていました。

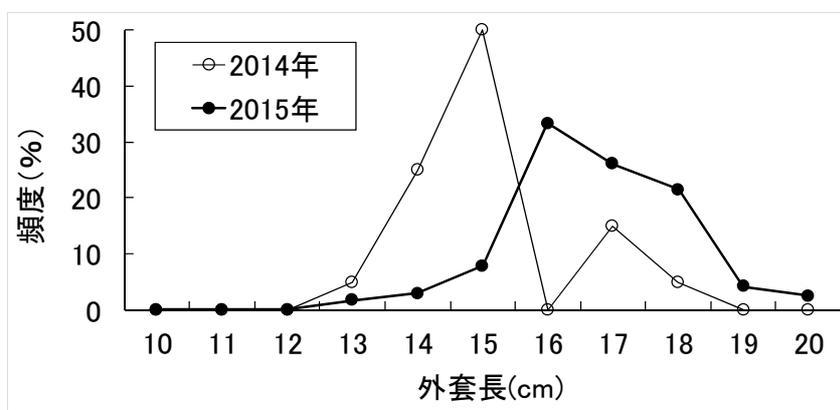


図3 スルメイカの外套長組成

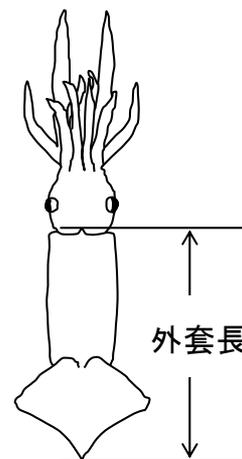


表1 2009~2015年のスルメイカ調査結果

調査日程	漁獲尾数	平均CPUE	外套長組成		調査点数
			範囲(cm)	モード(cm)	
2007年 6/13~20	311	1.24	6-18	14	6
2008年 6/10~17	199	0.59	7-15	13	7
2009年 6/9~17	165	0.43	10-17	14	8
2010年 6/7~14	8	0.03	13-16	15	7
2011年 6/7~14	268	0.92	6-19	16	7
2012年 6/9~16	29	0.10	6-11	10	7
2013年 6/3~10	15	0.10	5-16	16	7
2014年 6/2~9	20	0.11	13-18	15	7
2015年 6/4~12	159	0.97	13-20	16	7

(釧路水産試験場 調査研究部、TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225)